

## 令和3年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：令和3年度第1回 愛知県立大学 世界史セミナー
2. 事業種別：共催
3. 申請者：菊池 好行（愛知県立大学外国語学部英米学科 准教授）
4. 共催：愛知県立大学世界史研究会、愛知県立大学地域連携センター
5. 開催日時：令和3年11月20日（土） 16：00～18：00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）／サテライトキャンパス
7. 講師：石橋 悠人 氏（中央大学文学部 教授）
8. 参加者数：35名（一般・学生）（オンライン：17名 会場：18名）

### 【概要】

世界各地で存在していた多様な時間概念・習慣が「均質」「普遍的」な時間の体系に移行するプロセスを、多数の植民地・影響圏を持ったイギリス帝国の重要性に着目して説き明かす講演が行われた。「時間に取りつかれた」近代イギリス社会での産業革命、鉄道網確立、海洋帝国建設、時報伝達技術の発達などを主因とする時間意識の転換にはじまり、帝国植民地におけるイギリスの時間概念の「文明化」のロジックによる教化・普及とグリニッジ天文台が果たした役割、国際会議などでの世界標準時の成立・定着過程が次々と考察されていった。

### 【チラシ】

愛知県立大学 地域連携事業

**2021年度 第1回愛知県立大学世界史セミナー**  
**時間の帝国**  
 —近代イギリス社会とグリニッジ標準時の形成—

19世紀イギリスでは鉄道・電信網の拡充や海外貿易の拡大の中で、時間の確かな計測や利用が重視され、これに対応してさまざまな技術の改良により、社会全体で正確な標準時の共有が広がりました。植民地でも学者、実業家、現地官僚らが、ヨーロッパの時間概念や制度を積極的に導入しました。

本講演では、このようなイギリス帝国内の「時間改革」の意味やその背景・意義について、グリニッジ標準時の誕生について論じています。

講師 石橋 悠人 氏  
 （中央大学文学部 教授）

日時 2021年11月20日（土）16：00～18：00  
 場所 ①愛知県立大学サテライトキャンパス（定員30名）  
 名古屋市中川区名駅4丁目4-38  
 愛知県産業カレッジセンター「ワインクあいち」15階  
 ②オンライン（Zoomウェビナー）

**参加費無料**

【申込方法】いずれかの方法でお申込みください。  
 （空白になり次第、申込締め切りです。）  
 ① 愛知県立大学 地域連携センター Web申込みシステム  
<https://www.bur.aichi-u.ac.jp/renkei/>  
 ② F.A.X  
 「世界史セミナー第1回申込」、「氏名（ふりがな）」、「電話番号」、「F.A.X番号」を記載して、0561-64-1104 宛てにF.A.Xしてください。

【問い合わせ先】  
 愛知県立大学 学術情報部 研究支援・国際連携課  
 〒480-1192 愛知県豊田市中区名駅1322番3  
 メール：renkei@bur.aichi-u.ac.jp

主催：愛知県立大学（世界史研究会、地域連携センター）

【講座の様子】



【講座の様子】

